

道労連NEWS

発行日：2017.12.03



発行：北海道労働組合総連合 〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 Tel: 011-815-8181

賃上げと安定雇用で地域活性化へ 賃金も仲間も増やす春闘を

2018年北海道春闘学習討論集会

北海道春闘共闘委員会は2日、「2018年北海道春闘学習討論集会」を札幌市で開催し、各単産・地域組織に加え、北海道検数労連も参加があり、全体で112名が参加しました。

開会にあたり、赤坂正信副代表幹事(札幌地区労連議長／写真・左下)から、大幅賃上げや労働条件の改善にこだわってたたかうことの重要性や、憲法9条「改憲」や「働き方改革」を阻止する共同のたたかいについて触れ、「国民春闘とは何か」とわれている。労働組合をみせることで、賃金も組織も増やす春闘にしよう」と呼びかけました。

続いて、全労連の野村幸裕副議長(写真・右下)から基調報告を受けました。野村副議長は、安倍政権による財界への賃上げ3%要請は、賃上げの上限を3%に抑え込んで春闘を「管理」しようとするも

のであることや、生産性は向上しても労働者への分配率はむしろ減少していることなど、アベノミクスのウソとゴマカシを暴露し、大幅賃上げと底上げこそが地域経済活性化の要であることを明らかにしました。また、無期転換など安定雇用をすすめる要求闘争などを通じて、「たたかいの中でこそ組織を拡大していこう」と呼びかけました。





道春闘共闘の出口憲次事務局長は、18春闘のたたかいの柱として、①「国民春闘」とは何かを問い直し、新たにつくり出していくような構えをもってたたかうこと、②労働組合を社会的にみせることで「賃金も仲間も増やす春闘」にすることを位置づけ、大幅賃上げや最低賃金1,500円などの底上げ、無期転換促進や格差是正、8時間労働をあたりまえにするための長時間・過密労働解消などを、統一要求として掲げること。その要求を力に、3月14日の回答集中日、15日の統一行動日に向けて、学習と討議、オルグを質・量ともに高めて、ストを構えて統一闘争に結集することを提起しました。

基調報告、方針提起を受けて、各組織でのとりくみや経験を交流するためにパネルトークを実施。北海道医労連から坂本論書記次長、福祉保育労道地本から松原清副委員長、旭労連から平山沙織執行委員、さっぽろ青年ユニオンから更科ひかりさんがパネラーを務めました。

第1部は「国民春闘」をどうたたかうか、第2部は「労組をみせる」～賃金も仲間も増やす春闘に、をテーマに討論と交流。北海道医労連の坂本書記次長は、この間の春闘を振り返り、「職場で徹底してたたかうこととあわせて、産業全体を見据えた賃金・労働条件改善の運動が不可欠。診療報酬の改定など、改善させるための展望を示し、産別闘争を強化していくことが課題」と発言。単産による産業横断的なたたかいの重要性を強調しました。また、さっぽろ青年ユニオンの更科さんは、「賃上げを要求するのは、1歩高いところにあると感じている青年が多い。声すらあげられない状況のなか、まずは労組ならブラック職場を変えていけるということを見せていくことが必要」と、労働組合をもっともって知らせていくことの重要性を強調。旭労連の平山さんは、「『大企業がやること』で自分たちには春闘なんて無関係と思っていた組合員が、旭川での連続学習に参加するなか、『声をあげれば変わる』と思うようになった。ちゃんと伝えて、学習をしていけば、労組も春闘も『必要だね』と思ってもらえる」と、学習と交流を力に変えている旭川での経験を話しました。

福祉保育労の松原さんは、「スト権投票の学習・議論を通じて、組織的にも1段前進をした。全組合員と対話することが大切。ある分会(加盟職場組織)では、ひとり、ひとりに『お手紙』を送り、労組が考えていること、やろうとしていること、個々人の要求で対話するなかで拡大につながっている。春闘は、組織拡大をするチャンス」と、組合員参加型の春闘について報告しました。また、北海道医労連の坂本さんは、住民過半数署名を集めて指定管理を撤回させ、労働者と地域の福祉を守り抜いたはまます福祉の里ユニオンの事例を紹介。産業や地域全体を変えていく視点を持ち、点から面に運動を広げていく労働組合の役割が18春闘ではとても重要だと強調しました。

参加者からも、「室蘭での無期転換のとりくみを通じて地域の中で労働組合を市民にみせることが重要だと痛感した。労働組合をみせることを重視していきたい(室蘭労連)」、「自治体関連の職場で賃金や労働条件の改悪に対し、労働組合を結成してたたかうなか、団体交渉に未加入者にも『一緒に出て声をあげよう』と誘い、それが拡大につながるケースが出ている。団交で経営側に対する怒りが沸き起こり、労働者を守る労組の大切さを知ること加入する。団交で労組をみせることが大切(自治労連)などのフロア発言がありました。

これから1月にかけて、各単産・単組でも春闘論議が本格化し、方針が決まります。「賃金も仲間も増やす春闘」をめざして、力をあわせてたたかいきましょう。

各地域で予定されている「春闘学習会」日程

釧路 1/06[土]17:00～釧労連事務所

小樽 1/18[金]18:00～小樽市民センター

帯広 1/30[火]18:30～とかちプラザ(予定)

北見 2/23[金]19:00～調整中